

「マルチメディア」 学習指導案

平成 27 年 9 月 25 日 (金) 第 5・6 校時
 13:15～15:05 (100 分)
 ○○高等学校
 3 年 4 組 情報デザインコース

単元	情報と問題解決：問題の発見とデータの分析			
目標	・情報と情報手段を活用して、問題の発見と解決に関する基礎的な知識と技術を習得させ、適切に問題解決ができる能力と態度を育てる。			
単元の 評価 規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	自らの学校の問題点を認め、気づき、変えていきたいという想いをもち、具体的な行動プランを考えようとしている。	PMI の観点から学校を分析し、問題の解決可能性について、考えている。問題を解決する際に、どのような手法を用いると効果が得られるかを考えている。	ICT を活用した質的・量的なデータの収集方法を身に付ける。ICT を活用した質的・量的なデータを分析・考察する方法を身に付けることができる。	データを用いて主張ができる。質的・量的なデータの特性を知り、適切な活用場面を理解する。

指導計画	回	内容 a	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1	問題の認識、問題の発見【本時】	◎	◎		○
	2	問題の分析、調査方法の検討、PDCA サイクルの作成		○	○	◎
	3	調査の準備、質問紙の作成		○		◎
	4	調査の実行、結果の集計・分析		◎	◎	
	5	結果の考察	◎	◎		○
	6	考察内容の発表	◎	◎		

参考	単元について この単元では問題の認識・発見、問題の分析、調査方法の検討を行う。これらの内容は、次回以降に行う「Project」での根拠として活用する。また、主張に合わせて量的、質的なデータを扱う方法を学ぶ。
	Project ：「○○高校を変えよう！」をテーマに、高校の実態を調査・分析し、問題を発見する。発見した問題を解決するために、チームごとにプロジェクトとして取り組み、解決の手段を探り、解決策の提案をする。自分たちが生活しているコミュニティの問題解決について取り組ませることで、問題に気づき、それに対してアクションできる行動力の育成をねらう。
	基本的なスタンスについて 教え込むのではなく、生徒自らが問題意識をもち、考え、取り組めるような内容を多く盛り込む。生徒同士のコミュニケーション場面を設ける。試行錯誤をしながら、問題を解決していく過程を大切にする。

本時案 (50分×2)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇高校の課題を発見する ・論理的な伝え方と感覚的な伝え方の2種類の伝え方について実践することで特徴を理解する ・主張を裏付けるデータの必要性について考える 		
本時の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに積極的に参加しようとしている。 ・PMI分析を通して課題を発見し、明確化しようとしている。 ・フィードバックを生かした課題の焦点化をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇高校の課題について分析し、課題を具体化して考えている。させることができる。 ・課題について、数値などを用いて論理的に分析説明している。 ・課題について、体験談などを用いて実証的に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能

	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準(評価方法)【評価の観点】
導入3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり ・本時の目標の共有 ・ループリックの提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のポートフォリオから優秀コメントを抜粋し、紹介する。 ・プレゼンの様子を思い出させながら紹介を行い、特に話を聞いていて熱意がこもっているものや、具体的な数字を用いて説明を行っているプレゼンが分かりやすかったことを思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を理解し、伝え方には2種類あることを知る。(ワークシートの内容) 【知識・理解】
展開①7分	<ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション 「Project」についての概要説明を聞く ・実際に行われているプロジェクトについて聞くことで、イメージを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の成功談、失敗談などを交えながら、これからやることのイメージが湧くように説明をする。 ・実際のプロジェクトは「どうにかしたい!」という想い・目的意識から始まっているということについて理解させる。 	
40分 展開②	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の問題点の認識・発見 PMIを意識しながら「東百舌鳥高校の特徴」についてブレイン・ストーミングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点(Minus:改善できる部分)として考えさせる。問題点だけではなく、良い点(Plus)、独特な点(Interest)の三点について付箋を使って色分けし、それぞれでどのような特徴があるかについてチームでまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> PMI分析を通して課題を発見し明確にしようとしている(keynote資料、模造紙資料にまとめられているか確認する:成果物評価) 【関心・意欲・態度】
休憩(10分)			
10分 展開③	<ul style="list-style-type: none"> ・【続き】〇〇高校の問題点の認識・発見 PMIを意識しながら「〇〇高校の特徴」についてブレイン・ストーミングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点(Minus:改善できる部分)として考えさせる。問題点だけではなく、良い点(Plus)、独特な点(Interest)の三点を付箋を使って色分けし、それぞれでどのような特徴があるかについてチームでまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いに積極的に参加している。(最後にループリックに丸をつける:自己評価) 【関心・意欲・態度】
展開④20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション (3分発表、1分質疑、1分入れ替え) 	<ul style="list-style-type: none"> *必須条件 テーマは「〇〇高校の課題」 ・Keynoteでスライドを必ず作成すること ・自分たちのチームで話し合い、結論に至った経緯について載せること ・根拠を示すこと —数値、想いなど 相手に伝わるように考える ・時間は3分発表1分質疑、1分入れ替え ・必ず一人一回発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇高校の課題点について分析し、課題を具体的に説明できる。課題について、数値などを用いて論理的に分析し説明できる。 ・課題について、体験談などを用いて実証的に説明している。 (最後にループリックに丸をつける:自己評価) (keynote資料、模造紙資料にまとめられているか確認する:成果物評価) 【思考・判断・表現】
15分 展開⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを受けた課題の焦点化 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような課題に焦点を当て、どのように取り組んでいくかを定める。参加者の評価を集計して、参考にする 	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックを生かした課題の焦点化しようとしている。 【関心・意欲・態度】
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な講評 ・ポートフォリオ記入 ・次回の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ内容をポートフォリオとして記入させる 	

